



## 義太夫 傾城恋飛脚 新ノ口村の段

(けいせいこいびきやく にのくちむらのだん)

忠兵衛という青年は大和(奈良県)の国から大阪の淡路町の「亀屋」という飛脚問屋へ養子に来て、彼の代になっていました。忠兵衛は最近、梅川という傾城に夢中になって廊通いに忙しく本業に身が入りません。養母は心配でたまりませんが忠兵衛は梅川を身請けしたい一心です。しかし、そのためには大金が必要です。夜更けに江戸から荷物が届きます。ある御屋敷に届けなくてはならない三百両を懐に入れ、忠兵衛はふらふらと梅川の居る廊に向かって歩き出していました。一方、梅川は新町の廊で忠兵衛を待っていました。忠兵衛が請け出してくれなかったら彼女は自分が嫌いな客に請け出されるのです。忠兵衛は手付金を払ったまま、後金の支払いは延びたままです。そこへ忠兵衛の友人、八右衛門が現れます。八右衛門はこのままでは忠兵衛はだめになってしまうと彼のために悪口を言って梅川から手を引かせようとしますが、門口で立聞きしていた忠兵衛はカッとなって為替の金の封印を切ってしまう。公金に手を付けてしまったのです。梅川を請け出すことができた忠兵衛、何も知らず夫婦になれると喜ぶ梅川。やがて忠兵衛から封印切りの事実を知らされ驚き、嘆きます。二人は追手から逃れるために廊町を抜け出し、手に手をとって忠兵衛の父親が住む雨の「新ノ口村」へと向かいます。



## 新内浄瑠璃 佐倉義民伝 甚兵衛渡し場の段

(さくらぎみんでん じんべえわたしばのだん)

佐倉宗吾は下総国(現千葉県)佐倉領、公津村の名主です。佐倉領主堀田上野守による重い年貢の取り立てにたまりかねた農民達は相談のうえ、名主の宗吾が江戸に行くこととなりました。佐倉宗吾は農民の苦しみを救うべく江戸に赴き、寺社奉行に窮状を訴え一時は功を奏したのですが、佐倉領主は奉行所の役人を買収してしまい、村人の暮らしは以前にも増して苦しくなっていました。「宗吾と甚兵衛」の物語はここから始まります。印旛沼の吉高の渡し場では夜になると渡し舟に鎖をかけ錠をして、江戸に訴えに行った宗吾を捕えようと、役人達は見回りを厳しくします。

それとは知らずに宗吾は渡し場にたどりつくのです。宗吾は渡し守の甚兵衛にその後の村の様子を聞き、村人を救う為には將軍に直接訴える以外にないと決意を固めるのでした。

死を覚悟した宗吾は妻や子に別れを告げる為、我が家に行こうとします。(当時は將軍に直接訴えるということは死を意味しました。)

宗吾の決意を聞いた甚兵衛は、宗吾を助けようと、自らも命を捨てる覚悟で、役人によってかけられた舟の鎖を断ち切り、舟を出して印旛沼の水神の森船着場まで宗吾を乗せ、妻子のもとへ送ります。雪の降るなか宗吾を見送る甚兵衛。そして宗吾の帰りをじっと待つのでした。

八王子車人形西川古柳座 五代目家元

西川古柳 にしかわこりゅう



八王子に160年以上続く国・選択無形民俗文化財である伝統人形芝居「八王子車人形」の五代目家元。幼少より祖父(三代目)、父(四代目)に指導を受け、23歳で文楽研修生として三人遣いの操作も学ぶ。地元八王子での定期公演のほか、日本各地で公演。海外招聘も多く、世界各国で公演を行なっている。  
ホームページ <http://kurumaningyo.com/index.html>

義太夫

竹本乾太夫 たけもといぬいだゆう



東京都新宿区出身。日本舞踊地方(ぢかた)を始め、人形浄瑠璃及び全国の歌舞伎竹本を勤める。古典のみにとどまらず現代劇、洋楽等他分野とのコラボレーションも手掛けている。舞台出演以外には、伝統芸能講座、ワークショップ等の講師を勤めつつ、保育園や小学校向けに幼児・児童に対する上演や体験教室なども行っている。義太夫協会所属。

三味線

野澤仁一郎 のざわじんいちろう



1988年、福島県南会津町生まれ。2001年、大歌舞伎義太夫「竹本」の故・竹本綾太夫師にスカウトされ、田島子供歌舞伎の義太夫語りとして初舞台。その後弾き語り奏者となり、綾太夫師に語り、同じく竹本の三味線方・野澤松也師に三味線の手ほどきを受ける。2015年より、竹本乾太夫師の三味線方としての活動を始め、同年「野澤仁一郎」を名乗る。このほか「竹本仁太夫」として、檜枝岐歌舞伎の義太夫や、松也師が創始の創作浄瑠璃の弾き語りも勤める。

浄瑠璃 新内浄瑠璃 人間国宝

鶴賀若狭掾 つるがわかさのじょう



鶴賀流十一代目家元。幼少の頃より新内節の太夫(語り手)であった父の鶴賀伊勢太夫より新内節浄瑠璃の手ほどきを受け、新内の道に入り、伝統的な新内節の技法を的確に体得。新内芝居の開催、八王子車人形とのコラボレーション、一人芝居と新内等、聴いて見て楽しい新内、分かりやすい新内をモットーに新内ファンの増加をはかる事に尽力。日本各地はもとより海外でも精力的に演奏活動をしている。平成十三年には重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受ける。

三味線

鶴賀伊勢吉 つるがいせきち



新内節鶴賀流分家家元。新内協会理事。1989年、新内節 鶴賀流第十一代目家元 鶴賀若狭掾(人間国宝)に師事。1991年、鶴賀伊勢次郎の名を許される。鶴賀若狭掾の三味線方として国内の演奏会やテレビ・ラジオ録音等古典的活動に取り組んでいる。海外公演は、鶴賀若狭掾の三味線方として30ヶ国での公演に参加。2012年、鶴賀伊勢吉の名を許される。2016年 鶴賀流分家家元を襲名。

### 【車人形とは】



人形遣いがロク口車と呼ばれる箱車に腰をかけて、文楽人形と同等のものを一人で操れるように工夫した珍しい人形芝居です。ロク口車の箱の中の前に二輪、後ろに一輪の車輪がついており、体重移動で自由に方向転換できます。